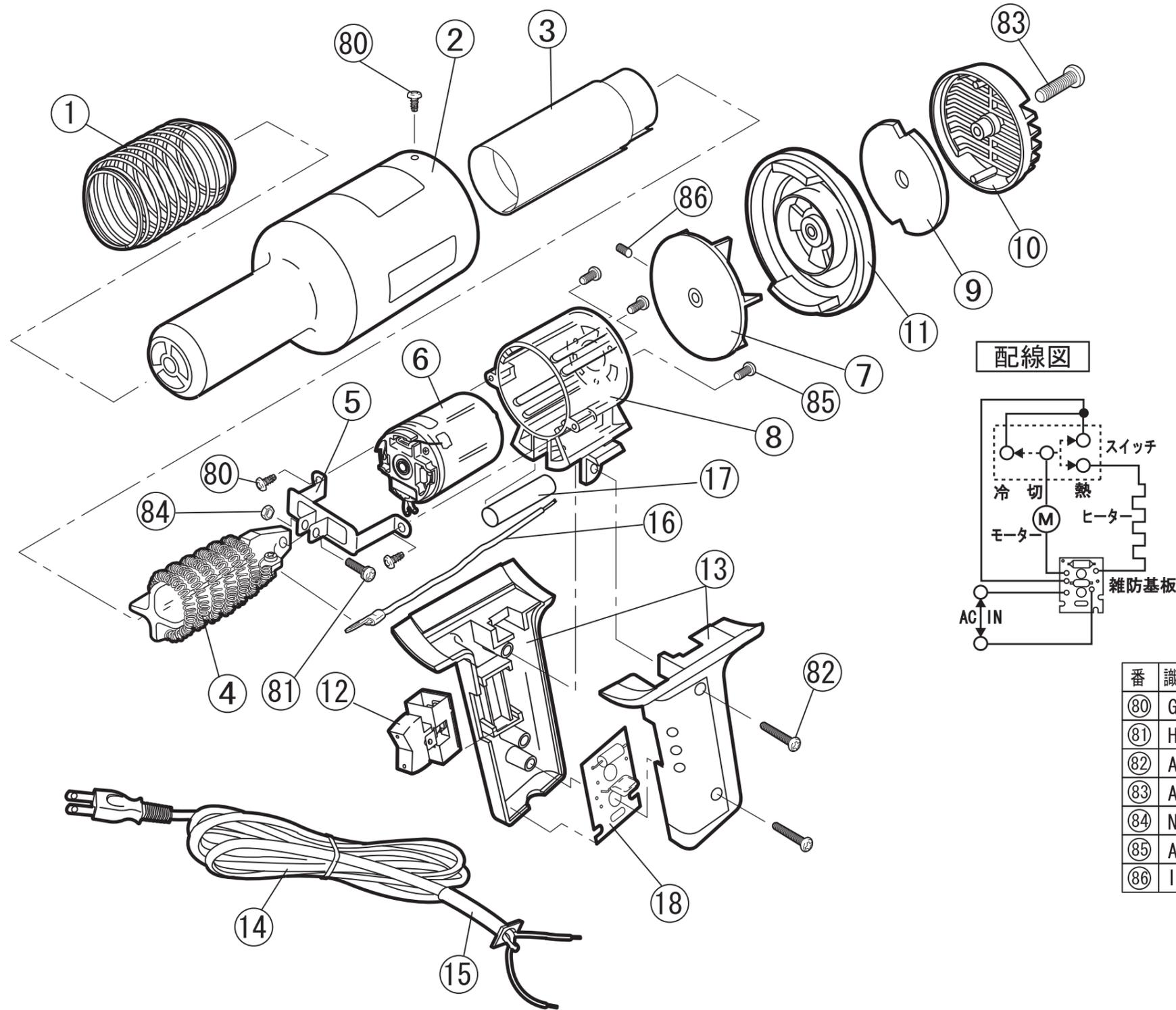


熱風加工機 PJ-210A



部品一覧表

番	識別記号	品名	数
①	130120	PJ-03スプリングガード	1
②	130127	PJ-210Aケース	1
③	120134	マイカセット (ZMS-2)	1
④	120157	ヒーター組 (PJ-210A-H)	1
⑤	130124	PJ-210Aヒーター止め金具	1
⑥	130125	PJ-210Aモーター	1
⑦	130123	PJ-210Aファン組 (⑧止めネジ付き)	1
⑧	130126	PJ-210Aモーター支持具	1
⑨	120221	PJ-01フィルター (PJF-1)	1
⑩	130109	PJ-01フィルターケース	1
⑪	130121	PJ-210Aケースふた組	1
⑫	130106	PJ-01電源スイッチ	1
⑬	130122	PJ-210AトッテAB組	1
⑭	130101	01電源コード組 (⑮付き)	1
⑮	130107	01コードプロテクター	1
⑯	130146	PJ-ヒーターリード組	2
⑰	130235	保護チューブ (TUCWG080035W)	1
⑱	130128	PJ-210A雑防基板組	1

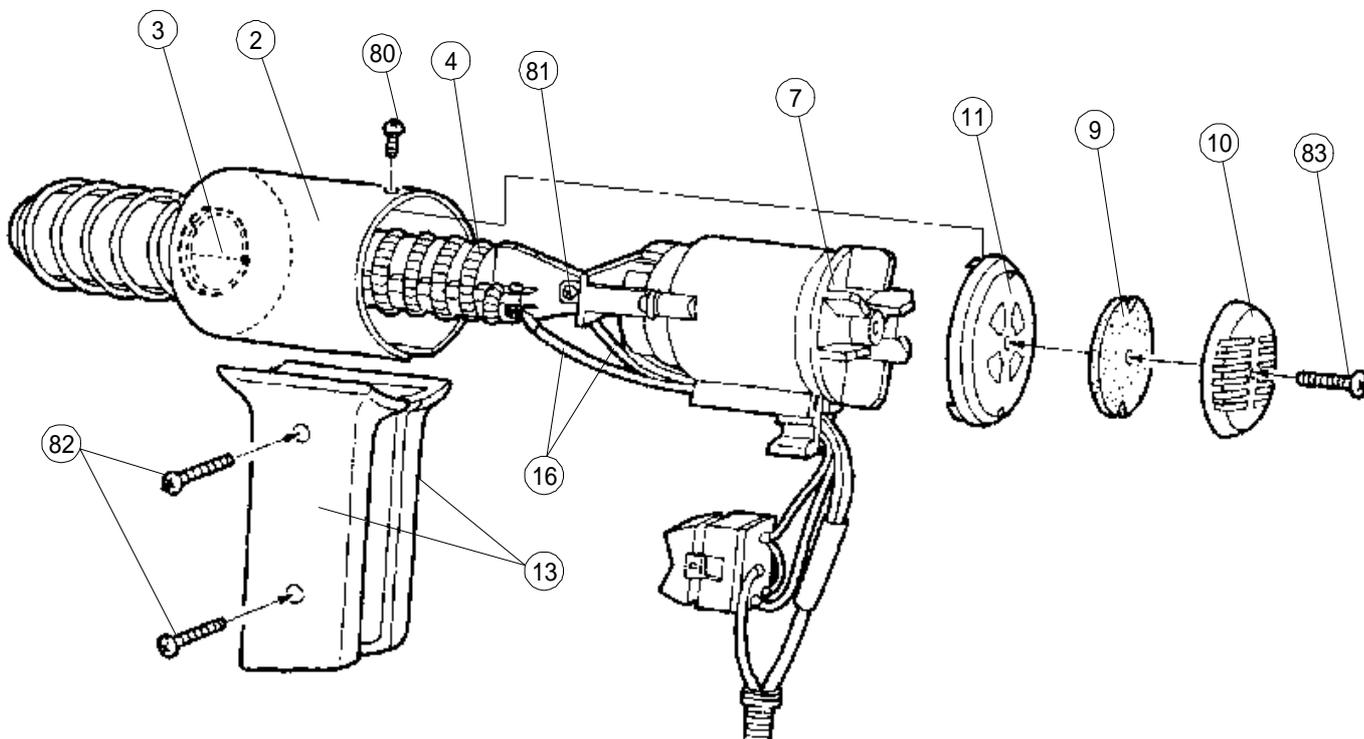
番	識別記号	種別1	種別2+寸法	数量
⑧⑩	GC06N	鉄プラスISO溝付きタッピングネジ	ナベ頭M3×06mm	3
⑧⑪	HC12Z	鉄プラスISOセムス小ネジ	ナベ頭M3×12mm	1
⑧⑫	AC14N	鉄プラスISO小ネジ	ナベ頭M3×14mm	2
⑧⑬	AD14B	鉄プラスISO小ネジ	ナベ頭M4×14mm	1
⑧⑭	NB03N	鉄ISO六角ナット1種	1種M3ナット	1
⑧⑮	AC05Z	鉄プラスISO小ネジ	ナベ頭M3×05mm	3
⑧⑯	IC04B	鉄六角穴ISO止ネジ	セットM3×4mm	1

株式会社 石崎電機製作所

！ご注意

製品を分解した際には導電部が露出しますので、電源プラグをコンセントに差し込んだ状態で作業しますと感電の恐れがあり、また使用直後は本体が熱を持っており火傷の恐れがありますので、作業を始める前に必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が完全に冷めている事をご確認下さい。

分解略図



熱風でご使用時に冷風のみで熱風が出ない時は、目視で断線が無いが、またはテスター等でヒーターの端子ネジ間で導通があるかを確認し、断線していたらヒーターを交換して下さい。(ヒーターの寿命はご使用方法や環境等の条件により大きく異なります)

必要な道具 (+)ドライバー 対辺5.5mmのボックスレンチ(またスパナ等六角ナット用の工具)
交換手順

ケース(2)を止めているネジ(80)を(+)ドライバーで緩めて外し、ケースふた(11)を引き抜きます。(写真1)



写真1

トッテ(13)の止めネジ(82)を(+)ドライバーで緩めて左右に引っ張るようにして外します。(写真2)



写真2

内部ユニット(7)を少し上に持ち上げてから後ろへ引き抜きます。(写



写真3

ヒーター(4)の端子ネジ(2カ所)のナットをボックスレンチで緩めて外し、ヒーターリード線(16)をヒーターの端子ネジから外します。(写真4)

ナット(84)をボックスレンチで押さえ、ネジ(81)を(+)ドライバーで緩めて外し、使用済みのヒーターを取り外します。

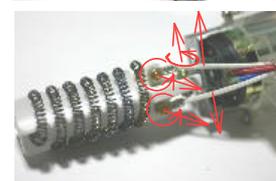


写真4

新しいヒーター(4)を取り付け、ネジ(81)とナットを軽く締めて仮止めします。

フィルターケース(10)が底面になるようにヒーターを上にして縦置きにし、ヒーターを上から軽く押さえてヒーターがほぼ垂直になる状態でネジ(81)をさらに締め、最後にナットをボックスレンチで押さえてネジ(81)を強く締め付け固定します。

ヒーター(4)の端子ネジにヒーターリード線(2本)の端子孔を通し、ナットを締め付け固定します。

ヒーターに極性はありませんのでヒーター端子ネジのどちら側でも配線は可能ですが、ヒーターリード線が絡むと被覆が傷ついてショートしたり、故障の原因になりますので絡まないようご注意ください。

内部ユニットをケース(2)にヒーター側から差し込み、ケース(2)に突き当たったら下に下げ、ツッテのどちらか一方の溝に内部ユニットの凸部を差し込みます。

電源スイッチ(12)と雑防基板(18)をツッテの所定の位置に合わせてセットし、もう一方のツッテをリード線をツッテに挟まないように注意しながら嵌め合わせ、ネジ(82)2カ所を締め付けます。(写真5)



写真5

ケースフタ(11)をケース(2)のネジ孔位置を合わせて嵌め込み(写真6)、ネジ(80)を締め付けます。



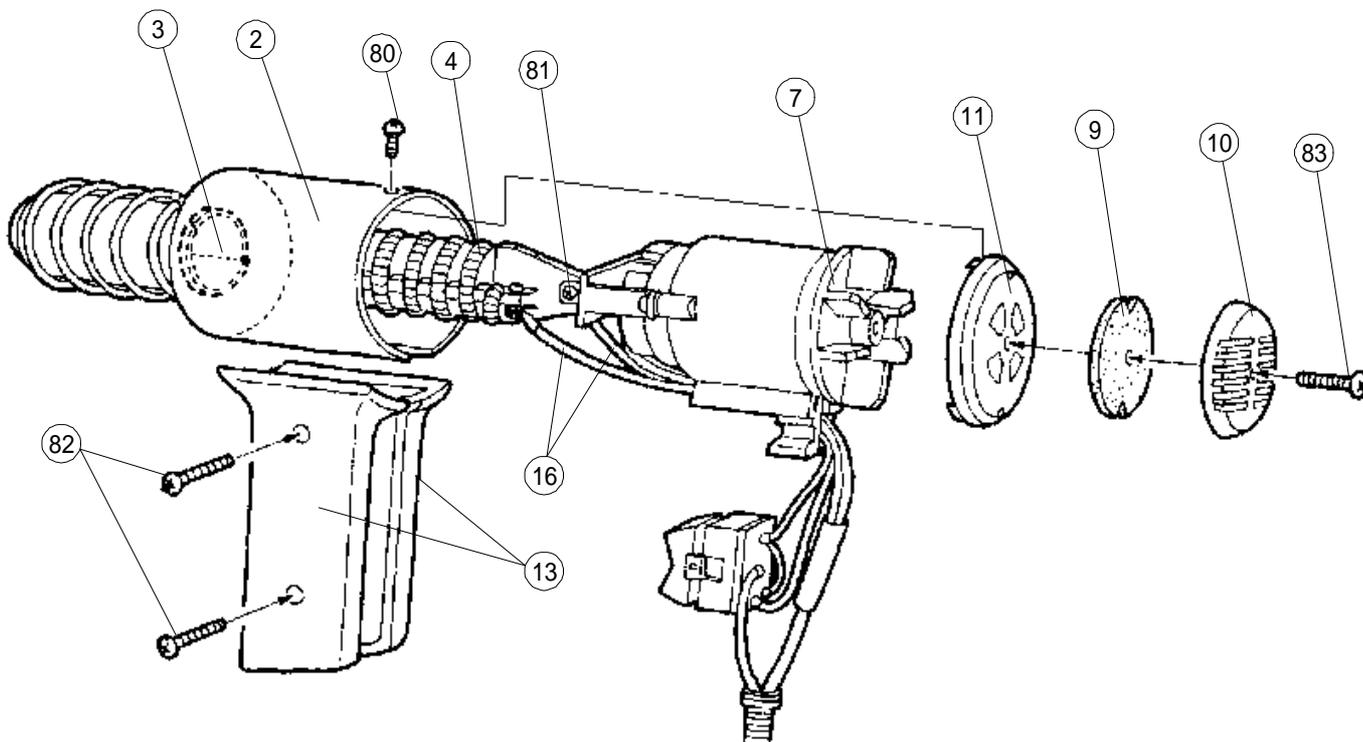
写真6

ヒーター交換時に絶縁マイカセット(3)が傷んでいないか確認し、傷んでいる場合は交換して下さい。
(ヒーターと同時交換をお勧めしています。) 交換手順は絶縁マイカセット交換をご覧ください。

！ ご注意

製品を分解した際には導電部が露出しますので、電源プラグをコンセントに差し込んだ状態で作業しますと感電の恐れがあり、また使用直後は本体が熱を持っており火傷の恐れがありますので、作業を始める前に必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が完全に冷めている事をご確認下さい。

分解略図



絶縁マイカセットは、前ケース(2)の内面とヒーター(4)の絶縁のために使用していますので、熱による傷みが激しくなると感電や漏電の恐れがありますので交換して下さい。

必要な道具 (+)ドライバー・ラジオペンチ等
交換手順

ケース(2)を止めているネジ(80)を(+)ドライバーで緩めて外し、ケースふた(11)を引き抜きます。(写真1)



写真1

トッテ(13)の止めネジ(82)を(+)ドライバーで緩めて左右に引っ張るようにして外します。(写真2)



写真2

内部ユニット(7)を少し上に持ち上げてから後ろへ引き抜きます。(写真3)



写真3

ケース(2)内部の使用済みの絶縁マイカセット(3)を取り出し、前ケース(2)内面に絶縁マイカセットがこびり付いて取れない場合は、(-)ドライバーの先端等で剥がして完全に取り除いて下さい。

新しい絶縁マイカセット(3)をセラミックペーパー(白い石綿状のシート)を外側にして直径25mmくらいに丸め、重なった部分をラジオベンチ等で挟んで押さえ、ケース(2)の奥まで差込みます。(写真 4)



写真 4

内部ユニットをケース(2)にヒーター側から差し込み、ケース(2)に突き当たったら下に下げ、トッテのどちらか一方の溝に内部ユニットの凸部を差し込みます。(写真 5)



写真 5

電源スイッチ(12)と雑防基板(18)をトッテの所定の位置に合わせてセットし、もう一方のトッテをリード線をトッテに挟まないように注意しながら嵌め合わせ、ネジ(82)2カ所を締め付けます。

ケースフタ(11)をケース(2)のネジ孔位置を合わせて嵌め込み(写真 6)、ネジ(80)を締め付けます。

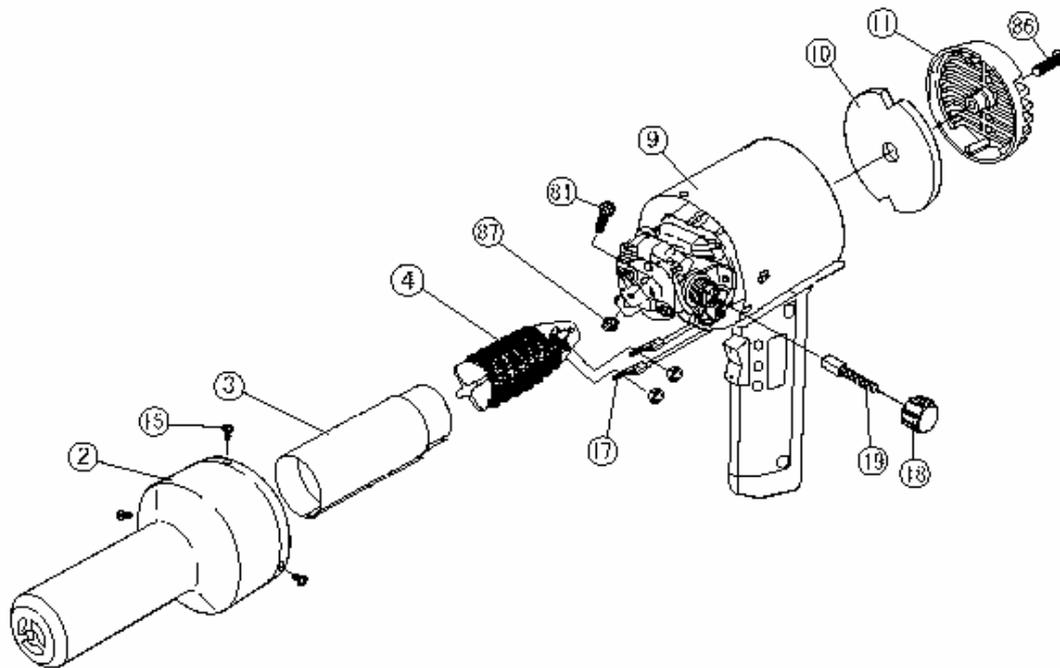


写真 6

！ご注意

製品を分解した際には導電部が露出しますので、電源プラグをコンセントに差し込んだ状態で作業すると感電の恐れがあり、また使用直後は本体が熱をっており火傷の恐れがありますので、作業を始める前に必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が完全に冷めている事をご確認下さい。

分解略図



(上図はPJ-206A/208AですがPJ-203Aも交換手順は同じです)

フィルターが汚れますと空気の通りが悪くなり、ヒーター及びモーターの故障の原因になりますので、必ず定期的に点検し、埃や油等が付着して目詰まりしている場合は、フィルターを交換して下さい。

必要な道具 (+)ドライバー
交換手順

1. 上図中の(86)のネジを(+)ドライバーで緩めて外し、フィルターケース(11)を取り外します。
2. フィルターケース(11)から使用済みのフィルター(10)を取り出し、新しいフィルター(10)の切り欠き部とフィルターケース(11)内側のピンの位置を合せて取り付けます。(写真1)

(写真1)



3. フィルター(10)の付いたフィルターケース(11)の内側のピンと後ケース(9)の孔を合せてセットし、ネジ(86)を締め付け固定します。(写真2)

(写真2)

